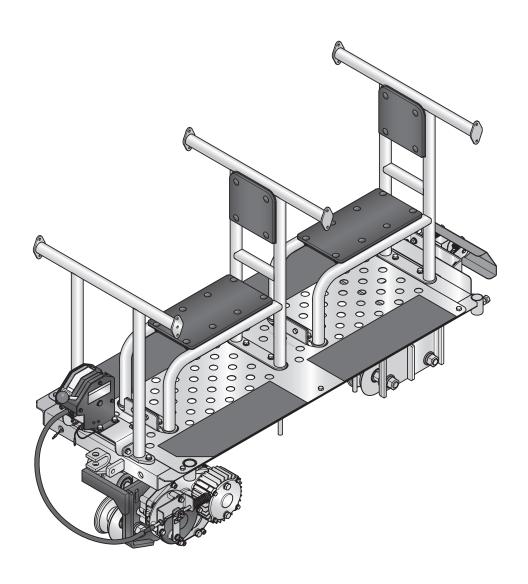


乗用荷物台車 OPB-2-50

取扱説明書



- ●このたびは、乗用荷物台車 OPB-2-50 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ●この OPB-2-50 は、人員搬送と、組み替えにより荷物運搬するための単軌条式運搬機械です。 他の用途には、絶対使用しないでください。
- ●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
- ●取扱説明書は大切に保管してください。
- ●お読みになった後は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。
- ●製品を貸与または譲渡される場合は、製品と一緒にこの取扱説明書もお渡しください。
- ●使用可能工具等、ご不明な点がありましたら、お買い求めの販売店またはお近くの弊社営業所にお申し付けください。
- ●日本国内での使用を前提として製造しています。日本国外への持ち出し、転売はしないでください。

もくじ

はじめに	お使いになる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
	安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
	各部の構成・名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
組立	組立方法【2人乗り乗用台車仕様の場合】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
	【荷物台車仕様の場合】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
点検	ご使用前の点検(メンテナンス)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
調整	ローラー調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
词 笙	ローフー調金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
保管方法	長期保管方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
その他	非常時の対処方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
	トラブル時の対処方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
	主要諸元・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
	アフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
	保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

はじめに■お使いになる前に

- ●この取扱説明書は、製品を使用する際に、ぜひ守っていただきたい安全作業に関する基本的事項、ならびに 適切な状態でご使用いただくための正しい運転・調整・整備に関する内容を中心に構成しています。
- ●日頃の運転・取り扱いの前にも熟読し、内容を十分に理解された上で、安全・確実な作業を心掛けて ください。
- ●取扱説明書は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。紛失または損傷された場合は、速やかにお買い求めいただいた販売店またはお近くの弊社営業所にで連絡ください。
- ●製品を十分に点検し、異常がないことを確認してからご使用ください。
- ●取扱説明書や警告ラベルに従って、作業をおこなってください。取扱説明書に書かれていない操作および取り扱いは、絶対におこなわないでください。
- ●品質・性能向上あるいは安全上の観点から、使用部品の変更をおこなうことがあります。 その際には、この取扱説明書の内容およびイラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ●弊社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後10年間保有しています。 製造打ち切り後10年経過した場合は、専用部品を提供できなくなりますので、あらかじめご了承ください。 注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

はじめに■安全上のご注意

で使用になる前にこの「安全上ので注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。



誤った取り扱いをすると、 「死亡または重傷を負う 可能性が大きいと想定 される」内容です。



誤った取り扱いをすると、 「死亡または重傷を負う 可能性が想定される」 内容です。

! 注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性 および物的損害の発生が 想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない 「禁止」の内容です。



必ず実行していただく 「強制」の内容です。



気を付けていただく「注意」の内容です。

本製品について





機械の改造はおこなわないでください。

機械の調子が悪くなったり、思わぬ事故を招くおそれがあります。

厄尔



作業前点検・定期点検をおこなってください。

故障に気づかず、思わぬ事故を招くおそれがあります。

以下の方はご使用を控えてください。

墜落もしくは巻き込まれ、傷害事故が発生するおそれがあります。

- ・飲酒をしている方。
- 病気やけが、薬物の影響で正常な作業ができない方。
- 体調がすぐれない方。
- ・モノラック操作の講習を受けていない方。

だぶついたズボン、上着、マフラーや長い髪で作業しないでください。

衣類や髪が回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。



禁止

走行・点検中に異常を感じたら使用しないでください。 走行中の場合は、直ちに機械およびエンジンを停止し、降車してください。 機械が破損し、けがをするおそれがあります。

運転者はエンジンをかけたまま、牽引車から離れないでください。

専用の乗用台車以外乗らないでください。

部外者が乗り、けがをするおそれがあります。

滑落もしくは墜落して、けがをするおそれがあります。

乗用部以外には乗らないでください。

滑落もしくは墜落して、けがをするおそれがあります。

乗用台車に定員以上、乗らないでください。

乗用台車として使用する際は、乗用部の定員重量は150kg(2名)です。

座席に手荷物を置いた状態で走行しないでください。

走行中に墜落して、傷害事故が発生するおそれがあります。

乗用台車として使用する際は、必ず座席を取り付けてください。

走行中に墜落して、傷害事故が発生するおそれがあります。

走行中は、必ずヘルメットをかぶり、座席に座ってください。

- ・頭上の木などに頭をぶつけるおそれがあります。
- ・走行中に墜落して、傷害事故が発生するおそれがあります。

!

機械を扱う前に取扱説明書を読み、理解して取り扱ってください。けがや機械が破損するおそれがあります。



所有者・管理者から十分な安全教育を受けた人だけが、操作をおこなってください。 事故を起こし、けがをするおそれがあります。

レールが公道・農道などと隣接するときは、立て看板で注意を促し、柵を設けるなどしてください。

- ・走行中に接触すると、傷害事故が発生するおそれがあります。
- ・
 軌条に気づかず接触して、けがをするおそれがあります。

運転する際は、周囲の安全を十分に確かめた上、運転をおこなってください。 走行中に接触すると、傷害事故が発生するおそれがあります。



主。

整備をおこなうときは、必ず専門の整備技術者に依頼をしてください。 機械の調子が悪くなったり、思わぬ事故を招くおそれがあります。



本製品について【荷物台車仕様の場合】

荷物台車には最大積載量200kgを超える積み込みはしないでください。

- ブレーキの効きが悪くなります。
- ・機械の破損、けがなどの思わぬ事故を招くおそれがあります。

荷物台車には最大積載高60cmを超える高さの積み込みはしないでください。 荷物台車の安定が悪くなり、走行中に脱線して、けがをするおそれがあります。



文 言 上 荷物台車に荷物を載せるときは、重心に注意し、荷台の幅員を超える幅の積み込みはしないでください。

- ・荷物が人や立ち木などに当たり、荷崩れを起こし、機械の破損、けがなどの思わぬ事故を招くおそれがあります。
- ・荷物台車の安定が悪くなり、走行中に脱線して、けがをするおそれがあります。

荷物台車以外に荷物を載せないでください。

荷物が落下して人に当たり、傷害事故が発生するおそれがあります。

荷物台車に人は乗らないでください。

走行中に墜落して、傷害事故が発生するおそれがあります。



荷物台車として使用する際は、必ず座席を取り外してください。

ずra 台車の安定が悪くなり、走行中脱線し、傷害事故が発生するおそれがあります。

使用上のご注意〈作業前・点検時・整備時〉



給油口に火気を近づけないでください。 火災のおそれがあります。

点検時以外は、走行範囲に人が入らないようにしてください。

急に動き出すと、傷害事故が発生するおそれがあります。

機械が破損したり、異常を感じたら絶対に使用しないでください。思わぬ事故により、物的損害や人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

走行前に、必ずレールに異常がないか点検をおこなってください。

(割れ、ボルトのゆるみ、摩耗(48mm以下)、ラックの変形等) 脱線して、傷害事故が発生するおそれがあります。



各ケーブルに、断線・被覆の破れがないか確認してください。

- ・感電し、けがをするおそれがあります。
- ・機械が思わぬ動作をし、けがをするおそれがあります。

給油は機械が水平な場所でおこなってください。

オイルがあふれ出し、火災・やけどのおそれがあります。

 \bigwedge

機械やレールに散水しないでください。水洗いも、おこなわないでください。 感電し、けがをするおそれがあります。また、機械が破損するおそれがあります。

天候が大雨・雷雨・台風の場合は使用しないでください。

機械の破損、思わぬ事故を招くおそれがあります。



各ローラーとレールのすき間が1mm以上あるときは、走行しないでください。

- ・レールからローラーが外れ、脱線して、けがをするおそれがあります。
- ・直ちに弊社による、点検・整備を受けてください。



室内や換気の悪い場所で運転しないでください。

排気ガスで中毒になるおそれがあります。

各種カバー類を外したまま、使用しないでください。

手をはさんだり、衣類を巻き込むなどして、けがをするおそれがあります。

使用上のご注意〈作業前・点検時・整備時〉(つづき)

点検・整備は、レールが水平な場所でおこなってください。 万が一、傾斜した場所でおこなう場合は、ロープなどで固定するか、歯止めをして、 完全に固定してください。

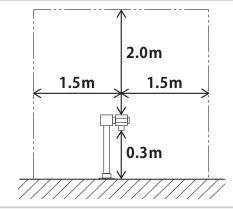
- ・傾斜地でおこなう場合は、非常用緊急停止ブレーキも「停止」に入れ、作業をおこなってください。
- ・機械が動き出し、けがをするおそれがあります。

レール周辺(レール左右1.5m以上、上方面 2.0m以上、下方面0.3m以上)の障害物を取り除いてください。

走行中に障害物が運転者に当たり、 けがをするおそれがあります。



- ・機械が破損するおそれがあります。
- ・脱線して、傷害事故が発生するおそれがあります。



積雪した場合は、十分に除雪をおこなった上で、使用してください。 機械の破損、思わぬ事故を招くおそれがあります。

給油する際はヘルメットをかぶり、足を滑らせないように注意してください。

駆動輪・制動輪、ローラーやレールの間に手や指を入れるときは、機械が動かないことを 確認してください。

注意 手や指に、けがをするおそれがあります。

墜落すると、けがをするおそれがあります。



使用上のご注意〈始動時〉



禁止

注意

悪天候および夜間など、視界不良の状況で運転しないでください。

座席から乗り降りする際は、ステップから足を滑らせたり、踏み外さないように注意して ください。

墜落すると、けがをするおそれがあります。

脱線・墜落・けがをするおそれがあります。

使用上のご注意〈運転開始・走行時〉

機械が高い場所にある場合、乗車・降車はしないでください。

機械が脱線・墜落をして、傷害事故が発生するおそれがあります。



走行中もしくは動いているときに、乗り降りや荷物の積み込み、積み下ろしはしないでください。必ず停車中に足元のしっかりした場所でおこなってください。

転倒したり、荷の下敷きになり、けがをするおそれがあります。また、脱線や衝突して、傷害事故が発生するおそれがあります。

室内や換気の悪い場所で運転しないでください。

排気ガスで中毒になるおそれがあります。



警告

発進するときは、周囲の安全を十分に確かめ、機械およびレールの周辺に人を近づけないでください。

走行中に接触すると、けがをするおそれがあります。

機械が自動停止位置で、止まらなかった場合、または停止位置が通常の停止位置と違うことが確認された場合は、速やかに運転をやめ、点検を受けてください。



機器の破損、事故が起きるおそれがあります。
機械の走行中、異常な横揺れ、振動、異音、衝撃が発生した場合は、直ちに運転を

機械の破損、傷害事故が発生するおそれがあります。

やめ、点検を受けてください。

機械の走行中、頭や手や足を機械の幅員より外に出さないでください。

- 人や立ち木などに当たり、傷害事故が発生するおそれがあります。
- ・支柱などに衣類や足が巻き込まれるおそれがあります。



注

非常用緊急停止ブレーキは、非常停止時(走行速度が異常に速くなったときなど)のみ使用してください。

- ・常用していると、機械・レールが変形・破損するおそれがあります。
- ・「停止」に入っているとエンジンはかかりません。

使用上のご注意〈荷物積み込み・積み下ろし時〉



警

 \bigcirc

必ず守る

最大積載量については ▶ P24 主要諸元 参照 機械の破損、けがをするおそれがあります。

一端がいができる。ことではいめらなす。 一部では荷物台車から落下しないように、必ず荷締め機を使用し、確実に固定してください。

確実な荷締めは使用者の責任です。 走行中に荷物が落下し、傷害事故が発生するおそれがあります。

荷物台車には高さ:60cmを超える積載はしないでください。

E2035-0 乗用荷物台車 OPB-2-50 取扱説明書

作業終了時のご注意



<u>敬</u>



機械は、必ず水平な場所で保管してください。勝手に動き出し、脱線してけがをするおそれがあります。





注音



必ず専用のカバーをかけて保管してください。故障の原因となります。

長期保管について



注



必ず専用のカバーをかけて保管してください。 故障の原因となります。

1ヶ月以上使用しないときは、レールが水平な場所か傾斜のゆるやかな場所で保管してください。

機械が動き出し、事故が起きるおそれがあります。

レールに歯止めをするなどして機械を固定してください。

機械が動き出し、事故が起きるおそれがあります。

湿気の少ない場所に保管して雨に濡れないようにしてください。 機械が破損し、けがをするおそれがあります。

廃棄について



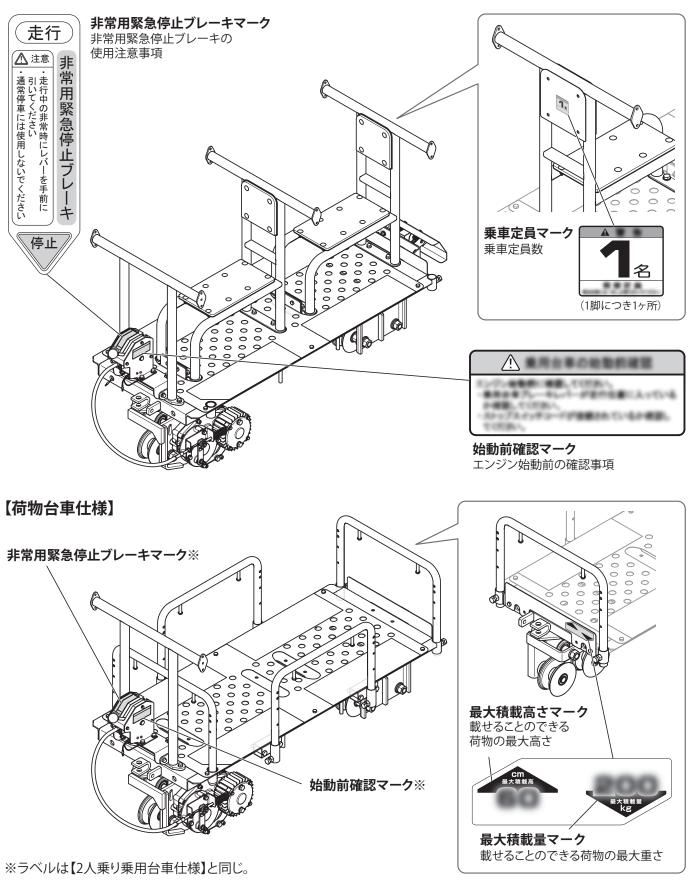


交換後のミッションオイルは、専門の廃棄業者に廃棄を依頼してください。 適切に処理しないと、環境を汚染します。

はじめに■各部の構成・名称

ラベル貼付位置

【2人乗り乗用台車仕様】



各部の名称

⚠警告



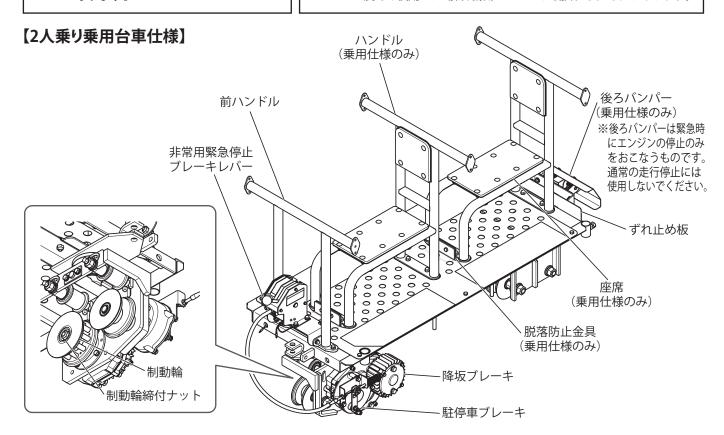
制動輪締付ナットがゆるんでいる ときは使用しないで、直ちに販売店 に点検・整備を依頼してください。 制動輪が外れ、破損するおそれが あります。

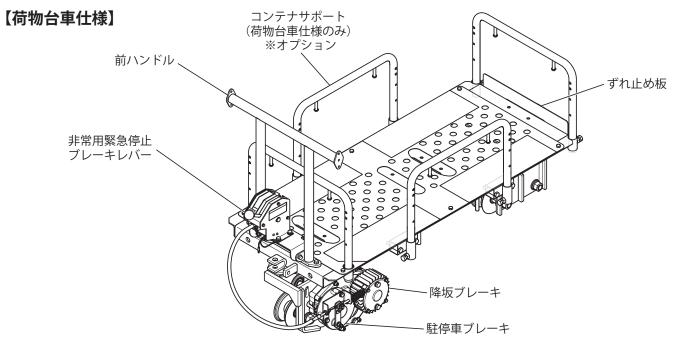
注意



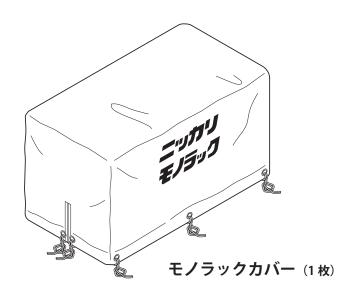
OPB-2 の非常用緊急停止ブレーキは、非常停止時(走行速度 が異常に速くなったときなど)のみ使用してください。 走行速度が異常に速くなった場合は、直ちに運転をやめ、 必ず守る 販売店に点検・整備を依頼してください。

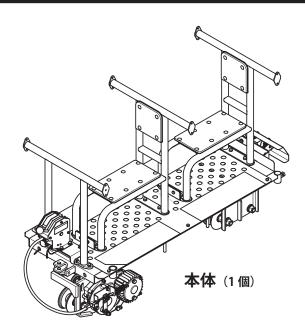
一度でも使用した場合、機械・レールが破損するおそれがあります。

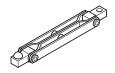




内容物一覧







連結器(1個)

連結ピン 平ワッシャー M16 Rピン (各1個



連結ピン 平ワッシャー M16 R ピン



副連結ワイヤー (1個) シャックル (2個)



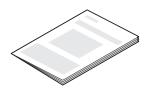
ストップスイッチコード (1個)

(MJ-200BS-OP1と連結時のみ使用)



リピートタイ (1本)

(ストップスイッチコードと ブレーキワイヤーの固縛用)



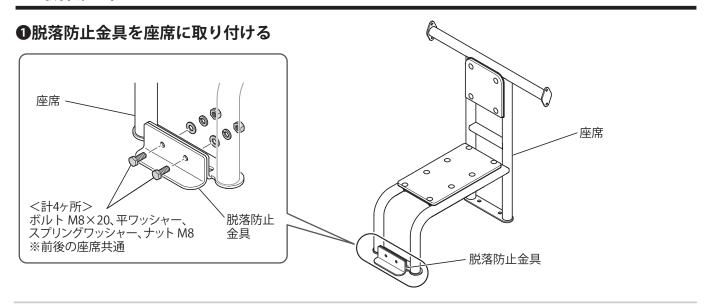
取扱説明書 (保証書付き)

(本書)

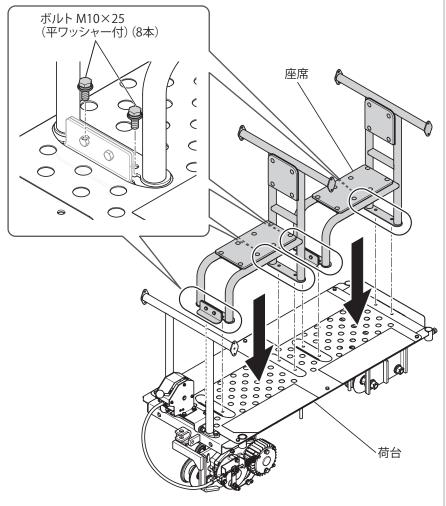
組 立 ■組立方法【2人乗り乗用台車仕様の場合】

●このOPB-2は用途に応じて「2人乗り乗用台車」と「荷物台車」に組み替えることが可能です。

1. 機械の組立

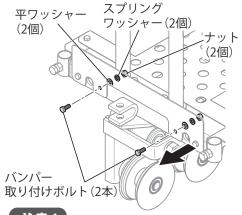


2荷台に座席を取り付ける



❸後ろバンパーを取り付ける

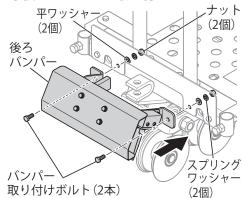
①ずれ止め板を固定しているボルトを 取り外す



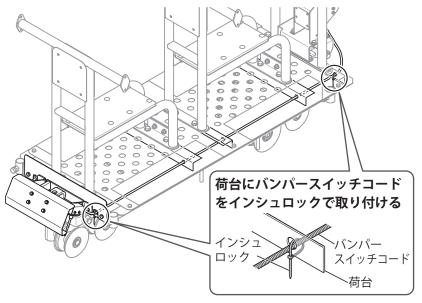
注意!

取り外したボルト類は取り付けに使用するのでなくさないようにする

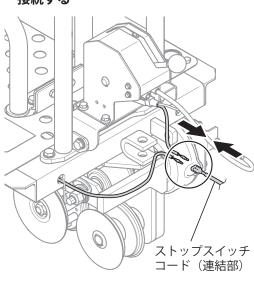
②後ろバンパーを取り付ける



③バンパースイッチコードを荷台下の穴に通して取り付ける



④ストップスイッチコード(連結部)と 接続する

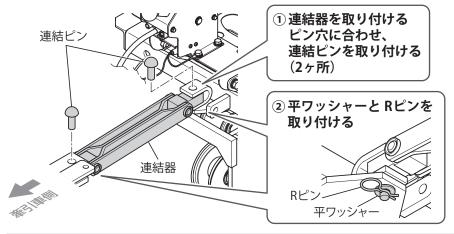


2. レールに入れる

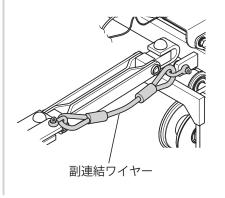
- ●牽引車をレールに入れる
- **②**OPB-2 をレールに入れる(レバーは「走行」位置に入れた状態)

3. 牽引車と接続する

●連結器で牽引車と OPB-2 を接続する



②副連結ワイヤーを牽引車と OPB-2 に接続する



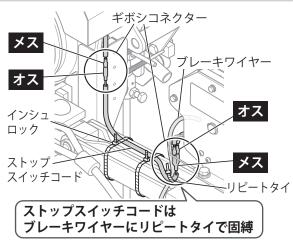
❸ストップスイッチコード(ギボシコネクター)を 牽引車と OPB-2 の 2 ヶ所に接続する

重要!

ストップスイッチコードを必ず接続すること

OPB-2 の非常用緊急停止ブレーキレバーを引いたときに エンジンを停止させるものです。

接続できていないとエンジンが停止せず、機械が破損するおそれがあります。



₫動作確認をする

動作確認

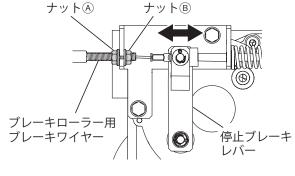
①OPB-2のブレーキが解除されていることを確認する。

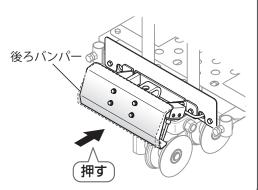
機械を手動で動かし、停止ブレーキドラムとシューが干渉していないか確認する。

※停止ブレーキ付近から「シュッ、シュッ」と音がしていたら、ブレーキの調整が必要です。

〈調整方法〉

- 1. ナット®をゆるめる。
- 【停止ブレーキレバーを右に倒したい場合】 ナット (A)を締める。
 【停止ブレーキレバーを左に倒したい場合】 ナット (A)をゆるめる。
- 3.2 の調整後、ナット ®をスパナで動かないように 固定しながら、ナット ®を締め付ける。
- 4. 機械を手動で動かし、音がしていないか確認する。
- ②牽引車と OPB-2 の接続を確認する。(連結器、副連結ワイヤー、ストップスイッチコード)
- ③非常用緊急停止ブレーキレバーを「走行」位置に入れる。
- ④エンジンを ON にする。
- ⑤非常用緊急停止ブレーキレバーを「停止」位置に入れる。 「停止」位置に入れた時点でエンジンが停止したことを確認する。 牽引車の走行・停止レバーを「停止」位置に戻す。
- ⑥エンジンを ON にする。
- ⑦後ろバンパーを押して、エンジンが停止することを確認する。





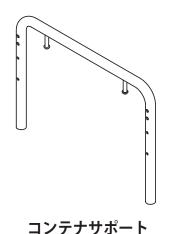
組 立 ■ 組立方法 【荷物台車仕様の場合】

●このOPB-2は用途に応じて「2人乗り乗用台車」と「荷物台車」に組み替えることが可能です。

オプション品

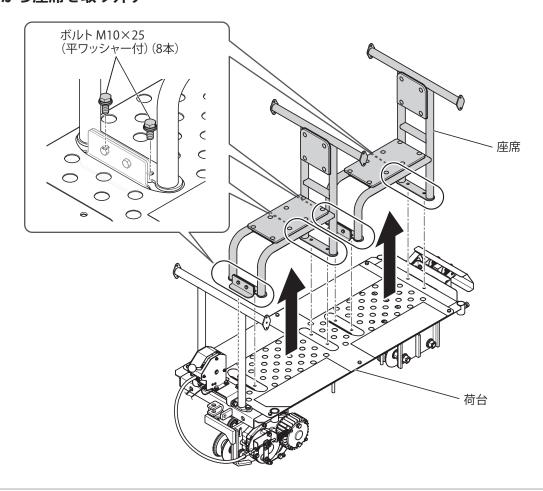


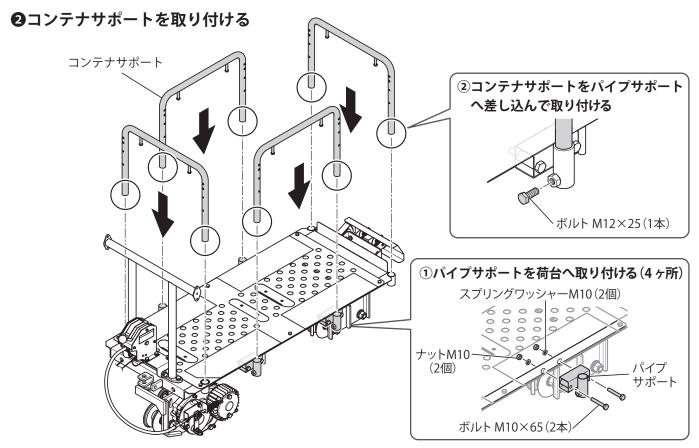
パイプサポート



1. 機械の組立

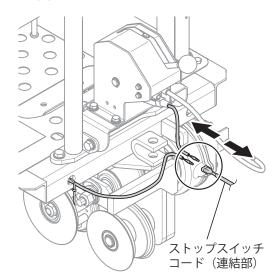
●荷台から座席を取り外す

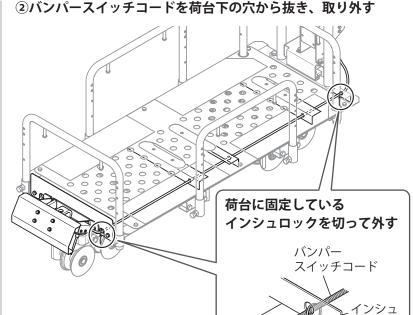




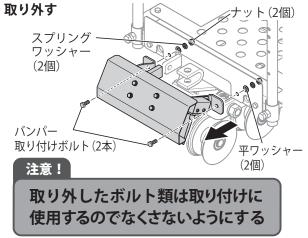
❸後ろバンパーを取り外す

- ①ストップスイッチコード(連結部)と 切り離す
 - ※ストップスイッチコードは邪魔にならないようにリピートタイでブレーキワイヤーに固定する

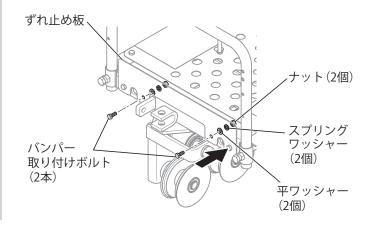




③バンパー取り付けボルトを外して後ろバンパーを



④バンパー取り付けボルトを取り付ける



荷台

ロック

2. レールに入れる

- ●牽引車をレールに入れる
- **②**OPB-2 をレールに入れる(レバーは「走行」位置に入れた状態)

3. 牽引車と接続する

- **①**連結器で牽引車と OPB-2 を接続する ▶ P12 3.**②** 参照
- ②副連結ワイヤーを牽引車と OPB-2 に接続する ▶ P12 3. ② 参照
- ③ストップスイッチコード (ギボシコネクター) を牽引車と OPB-2 の 2ヶ所に接続する ▶ P12 3. 参照
- **4**動作確認をする ▶ P13 3.4 参照

点 検 ■ご使用前の点検(メンテナンス)

小危険



作業前点検で異常があったときは、直ちに使用を止めて、 設置業者もしくはメーカーの点検を受けてください。 また、点検時に外したカバー類は元通りに取り付けてください。 思わぬ事故により、けがをしたり、機械が破損するおそれがあります。

⚠警告



室内や換気の悪い場所で運転しないでください。

排気ガスで中毒になるおそれが あります。

注意

点検・整備は、エンジンを停止して、エンジンが十分に冷えたことを確認しておこなってください。 エンジンの高温部に触れるとやけどをするおそれがあります。



点検・整備は、レールが水平な場所でおこなってください。

^{必ず守る} 万が一、傾斜した場所でおこなう場合は、ロープなどで固定するか、歯止めをして、完全に固定してください。

- ・傾斜地でおこなう場合は、非常用緊急停止ブレーキも「停止」に入れ、作業をおこなってください。
- ・機械が動き出し、けがをするおそれがあります。

乗用台車、荷物台車

点検箇所	点検項目	頻度	参照ページ		
制動輪	締付ナットはゆるんでいないか		P9		
ミッションオイル	規定量あるか、漏れはないか		P17		
ローラー	締付ナットのゆるみ、がたつき・揺れ・振動・異常音はないか		P21 • 22		
ローラー調整					
	連結器と副連結ワイヤーによって連結されているか				
	連結器の変形、破損はないか				
	溶接部およびその周辺に亀裂はないか				
	連結ピンがすり減って細くなったり、変形したりしていないか				
連結部	連結ピンのピン穴が大きくなっていないか	ピン穴が大きくなっていないか			
	連結ピンの R ピンの破損、抜けはないか	始業時			
	副連結ワイヤー取付部シャックルのねじはゆるんでいないか				
	エンジンストップスイッチコードは2ケ所とも接続されているか				
	電線類に断線・被覆に破れ・劣化はないか				
走行・停止レバー	非常用緊急停止ブレーキレバーが外れたり、曲がったりしていないか		P9		
ブレーキ	完全に効くか		P9		
1 70-4	非常用緊急停止ブレーキレバーを「停止」に入れたときにエンジンは停止するか		P19 • 23		
座席	座席、脱落防止金具取り付けボルトはゆるんでいないか		P11		
/主/市	前ハンドルのボルトはゆるんでいないか		P9		
各部ねじ	ゆるんでいないか		_		
フレーム	変形していないか	または 1ヶ月	P18		

レール

点検箇所	点検項目	頻度	参照ページ
レール支持ボルト	ゆるんでいないか		
各部ボルト・ナット	ゆるんでいないか		
レール・ラック	異常な摩耗や変形、腐食していないか	 100 時間ごと	
ストッパー受け 作動するか			P18
支持金具	割れがないか	または 1ヶ月	
沈下防止板	割れがないか、地面にしっかり接地しているか		
支柱	沈下や腐食、曲がっていないか		

⚠警告



火元のそばでオイルを補給しないでください。 オイルに引火し、火災・やけどのおそれがあります。



交換後のミッションオイルは、専門の廃棄業者に廃棄を依頼してください。

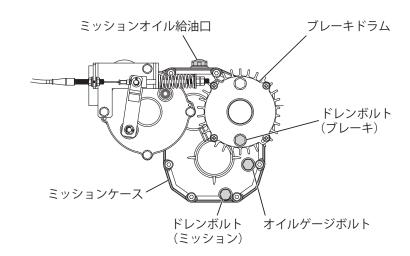
適切に処理しないと、環境を汚染します。

点検・補給 ※水平な状態でおこなってください。

●オイルゲージボルトを外し、 オイルの量を確認する

※オイルが穴部まであれば適量です。

②オイルが不足しているときは、 ミッションオイルを給油口より 補給する



オイル交換

重要!

初めて機械を使用するときは、約10時間運転した時点でオイル交換をおこなう

- **●** ロミッションケース下側のドレンボルト(ミッション)を外す
- **2**オイルを抜き取る(オイルパンで受けてください。)
- ⑤ドレンボルト (ミッション) を取り付けてから、 給油口より新しいオイルを補給する

オイルの種類	オイルの量	交換目安
ギヤオイル #90	0.3±0.1 ℓ	1年ごと

オイル漏れの確認

- ●ブレーキドラム下部にあるドレンボルト(ブレーキ)を外し、オイルが漏れていないか確認する
- ②オイルが漏れていなければ、ドレンボルト(ブレーキ)を元通りに取り付ける

※ブレーキドラム内にオイルが漏れていた場合、直ちに使用を中止し、販売店に連絡して点検・整備を受けてください。

↑ 警告



ブレーキドラム内にオイルが漏れた状態では使用しないでください。

ブレーキが効かず、暴走・脱線・機械の破損、またはけがをするおそれがあります。

⚠警告



レール・支柱に異常があったときは、使用しないでください。 修理・整備をおこない、場合によっては販売店の点検・修理を受けてください。

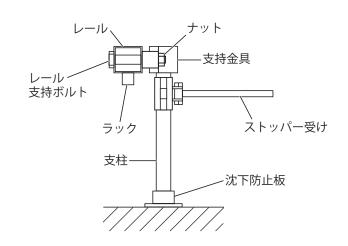
思わぬ事故により、けがをしたり、機械が破損するおそれがあります。

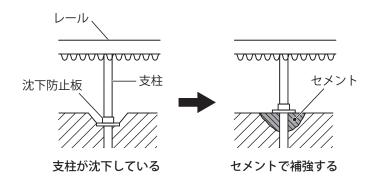
以下のことを確認してください。

- ●レール支持ボルト、ナットのゆるみ、 支持金具や沈下防止板の割れや浮きはないか 割れや浮きがあるときは、交換もしくは補修してください。
- ■ストッパー受けは作動するか、変形はないか

ストッパー受けが作動しないときや変形しているときは、新品と交換してください。

- ●支柱が沈下していないか 沈下しているときは、沈下防止板の下部を セメントで補強してください。
- ●レール、支柱が腐食していないか 腐食しているときは、新品と交換してください。





フレームについて

小警告



フレームに異常があったときは、使用しないでください。

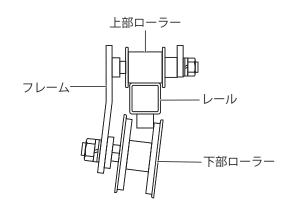
修理・整備をおこない、場合によっては販売店の点検・修理を受けてください。

思わぬ事故により、けがをしたり、機械が破損するおそれがあります。

以下のことを確認してください。

●フレームが変形していないか

変形しているときは、新品と交換してください。



介危険



連結部に異常があったときは、使用しないでください。 修理・整備をおこない、場合によっては販売店の点検・修理を受けてください。

思わぬ事故により、けがをしたり、機械が破損するおそれがあります。

注意

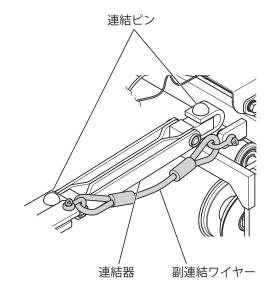


「MJ-200BS-OP1」と連結する場合は、必ず「1m回転ジョイントL」の連結器を使用してください。 思わぬ事故により、けがをしたり、機械が破損するおそれがあります。

以下のことを確認してください。

- ●連結器の溶接部およびその周辺にひび割れがないか ひび割れがあるときは、すぐに新品と交換してください。
- ●連結器が変形していないか 変形しているときは、新品と交換してください。
- ●連結ピンがすり減って細くなったり、変形したり、ピン穴が大きくなっていないか細くなったり、変形、ピン穴が大きくなっているときは、新品と交換してください。
- ●連結器、副連結ワイヤーを完全に連結しているか きちんと連結できていないときは、完全に連結してください。
- ●副連結ワイヤーが破損、または腐食していないか 破損または腐食がある場合は、新品と交換してください。
- ●連結器を接続したときに、ストップスイッチコードを 2ヶ所接続しているか

牽引車側、OPB-2 側 2 ヶ所のギボシコネクターを接続してください。

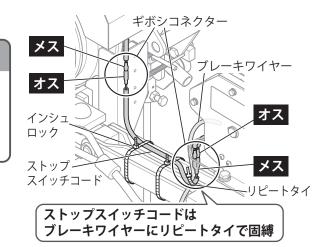


重要!

ストップスイッチコードを必ず接続すること

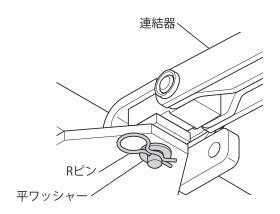
OPB-2 の非常用緊急停止ブレーキレバーを引いたときにエンジンを停止させるものです。

接続できていないとエンジンが停止せず、機械が破損するおそれがあります。



●連結ピンの R ピンが破損、または抜けていないか

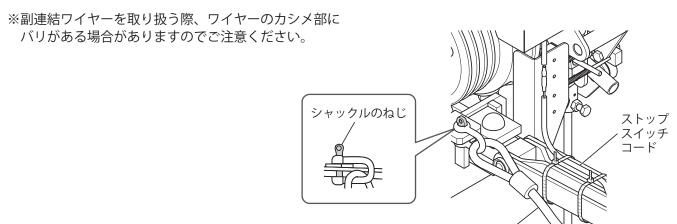
破損または抜けているときは、新品と交換してください。



副連結ワイヤー

●副連結ワイヤーの取付部、シャックルのねじがゆるんでいないか

ゆるんでいるときは、確実に締め付けてください。



⚠警告



各ローラーとレールのすき間が1mm以上あるときは、走行しないでください。

1mm以上あると、機械が左右に揺れて不安定になるため、脱線してけがをするおそれがあります。

注意

ローラーの調整は水平な場所でおこなってください。

傾斜した場所でおこなうと、けがをするおそれがあります。



ローラーの調整の際、ローラー軸がさびているときは、潤滑油をさすか、さび落としでさびを落として ください。

必ず守る さびたまま無理に回転させると工具が滑り、手にけがをするおそれがあります。

回転しないローラーがある場合、販売店に修理・交換を依頼してください。

そのまま走行すると、ローラーが破損するおそれがあります。

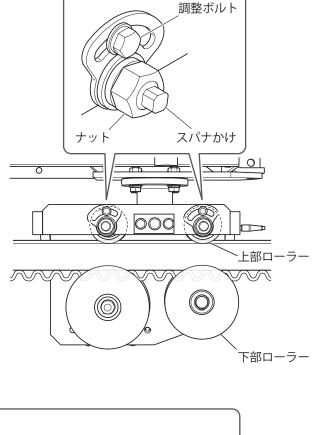
ブレーキ付ローラー

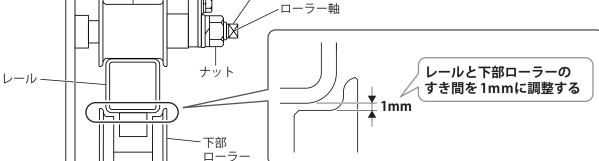
次の方法ですき間の調整をおこなってください。

- **①**ナットをゆるめる
- ❷調整ボルトをゆるめる
- **③**スパナかけにスパナをかけてローラー軸を回す
- ◆レールと下部ローラーのすき間が 1mmに なるように調整する

上部ローラー

- 毎調整ボルトを締める
- 6ナットを締める





スパナかけ(回す)

調整ボルト

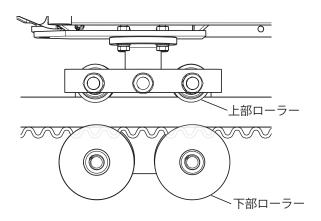
ブレーキなしローラー

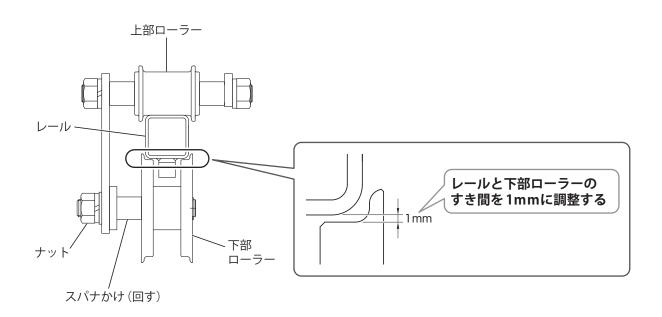
次の方法ですき間の調整をおこなってください。

- ●ナットをゆるめる
- 2スパナかけにスパナをかけてローラー軸を回す
- ❸レールと下部ローラーのすき間が 1mmに なるように調整する
- **②**スパナかけにスパナをかけて、ローラー軸が回らないようにしてナットを締める

注意!

ローラーが回転しない、変形・摩耗しているもの がある場合は、新品と交換すること





保管方法■長期保管方法

注意

1ヶ月以上使用しないときは、レールが水平な場所か傾斜のゆるやかな場所で保管してください。 機械が動き出し、事故が起きるおそれがあります。



レールに歯止めをするなどして機械を固定してください。

機械が動き出し、けがをするおそれがあります。

湿気の少ない場所に保管して雨に濡れないようにしてください。

機械が破損し、けがをするおそれがあります。

その他■非常時の対処方法

何らかの原因で牽引車側のブレーキが効かない、走行速度が異常に速くなるなど 危険であると判断したとき、以下の対処をおこなってください。

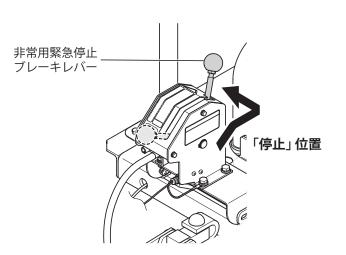
●OPB-2 の非常用緊急停止ブレーキレバーを 手前に引き、「停止」位置に入れる

OPB-2 のブレーキ機構が働き、 機械およびエンジンが停止します。

2注意して降車する

❸レールに歯止めをして機械を完全に固定する

◆お近くの販売店に点検を依頼する



その他■トラブル時の対処方法

⚠警告



異常だと思ったら絶対に使用しないでください。

- ・思わぬ事故により、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
- ・軽傷または物的損害の発生する頻度が高いことが想定されます。

トラブルの内容	考えられる原因	対処方法	
	非常用緊急停止ブレーキレバーが「停止」 に入っている	ブレーキレバーを「走行」に入れてください。	
正しい始動操作をおこなっている のに、エンジンが始動しない	非常用緊急停止ブレーキレバー内の リミットスイッチが故障している	リミットスイッチの交換が必要です。 直ちに販売店に連絡し、交換をして ください。	
	バンパーが作動している	バンパーの状態を確認してください。	
通常の走行時より、揺れや振動が 明らかに大きくなり、危険を感じる	ローラー部のすき間があいている レールの破損、摩耗		
石や木などに衝突して壊れた	軌道上に障害物がある		
正しい操作をおこなっているのに、 機械が駐停車しない	ブレーキ内のオイルシールが破損している 駐停車ブレーキの調整が適切でない	機械の運転をやめ、エンジンを止めて 安全に降車してください。 直ちに販売店に連絡し、点検・整備を 受けてください。	
走行中、機械のどこからか異音や 悪臭(こげくさい)が発生している	降坂ブレーキ、駐停車ブレーキの故障、 引きずり		
走行中、異常な横揺れ、振動、異音、	障害物と干渉している		
衝撃が発生した	機械が故障している		

その他■主要諸元

乗用台車・荷物台車

型式		OPB-2-50
	全長(mm)	1556
大きさ	全幅(mm)	560
ささ	全高(mm)	1000
	機体重量(kg)	116(連結器含まず)
乗車定員/最大積載量		2名 (1名75kg) / 200kg (荷物台車仕様の場合)
最大傾斜角度(°)		45
制御装置		遠心ブレーキ(降坂) 内部拡張式ブレーキ(非常用緊急停止ブレーキレバーにより動作)

レール

型式	単軌条		
	NKAレール	NKMレール	
寸法(mm)	50×50×t2.3	50×50×t3.2	
全長(mm)	3000		
材質	STKR490		

支柱

間隔(mm)	1500	1000
サイズ	25	5A

※使用条件と連結構成は別紙「モノラックの構成一覧」を参照。

その他■アフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、お買い求めの販売店へお申し付けください。

保証書 (P26)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い求めの販売店からお受け取りください。 よくお読みの後、保管してください。

保証期間:納品した日から1年間

補修用性能部品の保有期間

弊社は、この製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後 10 年間保有しています。 製造打ち切り後 10 年経過した場合は、専用部品を提供できなくなりますので、あらかじめご了承ください。 注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

お買い求めの販売店へご連絡ください。

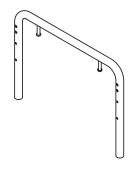
- ●保証期間中は、保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
- ●保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させて いただきます。

修理ご相談窓口

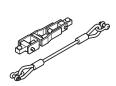
お買い求めの販売店またはお近くの弊社営業所(裏表紙)にお申し付けください。

オプション品について

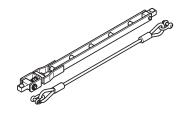
オプション品をご購入するときは、お買い求めの販売店またはお近くの弊社営業所(裏表紙)にお問合せください。



コンテナサポート



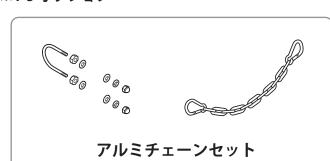
回転ジョイント S(370mm) (副連結ワイヤー・連結ピン含む) ※T-5 オプション



回転ジョイント L (1m) (副連結ワイヤー・連結ピン含む)



パイプサポート



その他■保証書

保証書

\bigcap	ふりがな					
	お名前				;	様
お		₸				
客	ご住所					
様		TEL	()		
	お客様へ	のお願い			いて十分説明をき 取ってください。	
販販	店名・住	所・TEL				
売						
店					I	印

牽引 車型式機体番号

無用台車型式機体番号

荷物台車型式機体番号

納入年月日 年 月 日

※印の所は乗用タイプのみ記入

〒703-8228 岡山県岡山市中区乙多見 482-1

株式会社ニッカリ

TEL 086 (279)1291



※ご記入いただきました個人情報は、個人情報に関する法令等を遵守し、製品保証に関する業務および納品説明確認業務に利用させていただきます。

保 証 規 定

1. 保証の内容

お買い上げいただいた弊社製造の製品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、これを無料修理いたします。(以下この無料修理を保証修理といいます。)保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。なお取り外した部品は弊社所有となります。

2. 保証期間

弊社製品を保証登録した日から1年間

- 3. 保証できない事項
- ①保守、整備の不備または取り扱い間違いに起因する不具合
- ②取扱説明書、注意ラベルに示す取り扱い方法と異なる使用に 起因する不具合
- ③弊社が示す仕様の限度(最大積載量など)を超える使用に起因 する不具合
- ④本製品の部品およびレール資材が弊社指定の純正品以外のもの を使用している場合の不具合
- ⑤認められていない改造に起因する不具合
- ⑥時の経過で発生する不具合(塗装面、メッキ面などの自然退色等)
- ⑦機能上影響のない感覚的現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- ⑧地震、台風、水害、落雷などの天災および火災に起因する不具合や事故
- ⑨煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合
- ⑩その他不測による事故
- ①後記4の「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったこと に起因する不具合
- 4. お客様にお守りいただく事項

弊社製品を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい

使用と点検、整備が必要です。次のことを必ず守ってください。 守られていない場合は保証修理をお断りすることがありますので、 ご承知ください。

- ①取扱説明書に示す取り扱い方法に従って使用すること
- ②運転前点検を実施すること
- ③弊社の指定する点検、整備を実施すること
- ④弊社の指定する点検、整備の実施を示す「整備手帳」を 保持すること

5. 保証の発効

この保証書は、お買い上げいただいた製品の販売店が保証書に製品の機体番号、登録日、販売会社等の必要事項を記入、捺印をして、顧客リストがニッカリに登録されることにより有効となりお客様に連絡します。

6. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、保証書をお買い上げの販売店またはニッカリにお持ちください。これより保証修理をいたします。 提示されない場合は保証修理いたしかねます。

7. 保証の適用

この保証書は使用される製品のみ適用いたします。

この保証書は本書に明示した期間と条件のもとに保証修理をお約束するものです。従って保証期間経過後に発生した不具合の修理は原則として有料です。ただし、保証期間経過後の不具合が使用損耗あるいは、経年変化によるものではなく、その全部または一部が弊社の責任に起因する場合は、その責任の度合に応じた適正な費用負担で修理いたします。





本 社 〒704-8125 東岡山事業所 (モノラック部) 〒703-8228

社 〒704-8125 岡山県岡山市東区西大寺川口 465-1 所 〒703-8228 岡山県岡山市中区乙多見 482-1 TEL 086-943-0051 FAX 086-943-0405

TEL 086-279-1291 FAX 086-279-1437

URL https://www.nikkari.co.jp/

※所在地や電話番号は変更になることがあります。